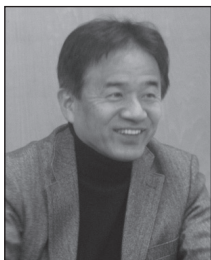


# 修了生と指導医が語る 「地域医療のススメ」の すすめ！

司会 山田隆司(地域医療研究所 所長・「月刊地域医学」編集長)  
出席者 吉村 学(揖斐郡北西部地域医療センター センター長)  
太田 浩(揖斐川町春日診療所 所長)  
横田修一(揖斐郡北西部地域医療センター)  
菅波祐太(揖斐郡北西部地域医療センター)



司会 山田隆司先生



吉村 学先生



太田 浩先生



横田修一先生



菅波祐太先生

## まずはアイスブレイクー自己紹介

山田隆司(司会) 今日には岐阜県にある揖斐郡北西部地域医療センターが開設から15年ということで、改めてこの施設の意味を振り返ろうと「やまびこの郷ワークショップ」を開催しました。地域医療振興協会(JADEC)家庭医療後期研修プログラム「地域医療のススメ」の修了生である太田 浩先生、横田修一先生、菅波祐太先生に集まっていたので、この機に座談会を行いたいと考えました。後期研修を終えて地域医療の現場に赴任し実際に診療してどうかということ、また協会の

「地域医療のススメ」の内容について、ぜひ忌憚のないご意見をいただきたいと思います。

「地域医療のススメ」のプログラム副責任者である指導医の吉村 学先生にも参加していただき、いろいろな議論ができたと思います。

まずは一人ずつ簡単な経歴と、現在の診療について紹介していただけますか。

太田 浩 揖斐川町春日診療所の太田 浩です。私は平成17年に奈良県立医大を卒業し、地域医療振興協会の伊東市民病院(静岡県)で初期研修を修めま

した。後期研修は家庭医療プログラム「地域医療のススメ」に進み、そのまま同院で勤務しました。初期研修と合わせると3年半くらいでしたね。その後3ヵ月間、東京都の神津島診療所に支援という形で赴任し、診療所医療に初めて触れました。そして平成21年、医師5年目に揖斐川町春日診療所(岐阜県)に赴任して、もうすぐ5年になります。今、医師9年目が終わろうとしているところです。

「地域医療のススメ」の中では、離れて研修する若い医師をつなぐ活動を同期とともに立ち上げ、平成21年に最初のチーフレジデントになりました。今後は、後期研修修了後のフェローシップについて何かできないかを模索しているところです。

**山田** ありがとうございます。続いて横田先生、お願いします。

**横田修一** 私は、平成20年に大分大学を卒業後、東京北社会保険病院で2年間の初期研修を受けました。当初は救急医になろうか、家庭医・地域医療医を目指そうか悩みましたが、2年目に経験した湯沢町保健医療センター(新潟県)の2ヵ月間の研修で、やはり自分がやりたいのは地域医療、家庭医療だと気が付き、後期研修は「地域医療のススメ」を選択しました。3年目は主に東京北社会保険病院で内科・小児科の研修をし、その後いよいよ地域の現場に出るということで、上野原市立病院(山梨県)や揖斐郡北西部地域医療センターで研修をしました。研修を通して自分に必要な技術は何かということを見直し、大学病院の救命救急センターで半年間、整形外科3ヵ月、リハビリテーション科2ヵ月、泌尿器科、皮膚科など専門科研修をして、また今年の4月からここ揖斐郡北西部地域医療センターに赴任しました。

「地域医療のススメ」の「企画メンバー」として、ここ3年、太田先生や菅波先生と一緒に活動しています。出身病院である東京北社会保険病

院で実施しているハーフデイバックの企画を担当して、後身の先生たちに地域医療の魅力や、地域に必要な技術、知識を伝えていくことにも携わっています。

実際の現場のことで言うと、最近住民が少なくなることに伴って少しずつ外来の患者数が減ってきているということもあって、グループホームへの訪問診療や老健施設の診療に力を入れています。

**山田** ありがとうございます。菅波先生、お願いします。

**菅波祐太** 鳥取大学出身で医師6年目です。大学在学中に地域医療を体験する機会があり地域医療や家庭医療に興味を持ったので、平成20年に卒業後、初期研修を東京北社会保険病院で受け、後期研修は「地域医療のススメ」に入りました。後期研修2年目の途中からここ揖斐郡北西部地域医療センターに赴任し、後期研修修了後も継続して勤務しています。現時点で2年と少し経ったところです。昨4月から、センターの診療のほかに派遣という形で坂内国保診療所の所長業務も兼任しています。

これまでは指導医の先生のもとで診療する機会が多かったのですが、外に出て一人で診療する時間があることで、自分のできない部分が見えてきたり矢面に立つ場面もあり、勉強になっています。不安になったときにはJADECOMのつながりを通して相談したり、積極的に人に頼るということも学びました。スタッフとの関係、行政との関係も最近は見えやすくなっています。

また、今年度は「地域医療のススメ」のチーフレジデントとして、プログラムの企画・運営に携わっています。「全員野球」という目標を立て、「楽しく・面白く・ためになる」プログラムを目指し、指導体制および学習環境の充実、スズメ内外での交流の活性化、積極的な情報発信などを行ってきました。